

平成 18 年 9 月 23 日, 24 日

第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会

メインテーマ

「高齢化と口腔リハビリテーション」

＝ 口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション、咬合リハビリテーション ＝

岡山大学創立五十周年記念館 岡山市津島中 1-1-1

大会長：窪木 拓男

（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）

9月23日(土)

記念基調講演：「JACMO の発展と咬合リハビリテーション」

13:10～ 山下 敦先生（岡山大学名誉教授）

市民公開シンポジウム：「全身健康はお口の健康から」

14:05～ 木村年秀先生（三豊総合病院・歯科保健センター、岡山大学歯学部臨床教授）
西村美紀先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・歯周病態学分野助教授）
吉田光由先生（広島大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔頸部医科学講座講師）

市民公開特別講演：「口からはじまる介護予防ー口腔ケアで寝たきり防止ー」

16:00～ 菊谷 武先生（日本歯科大学附属病院・口腔介護リハビリテーションセンター長）

9月24日(日)

シンポジウム I：「高齢者における口腔リハビリテーションと全身健康」

9:30～ 石井拓男先生（東京歯科大学・社会歯科学教授）
野村修一先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科・加齢歯科補綴学教授）
松尾敬子先生（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター、岡山県歯科衛生士会会長）

シンポジウム II：「摂食・嚥下障害に対する医科・歯科共同アプローチ」

13:00～ 内藤 稔先生（岡山大学病院・腫瘍・胸部外科講師）
石田 瞭先生（岡山大学病院・特殊歯科総合治療部講師）
皆木省吾先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・咬合・口腔機能再建学分野教授）

テーブルクリニック：「病診連携の構築 口腔ケア・摂食・嚥下障害訓練の実際」

15:00～ 近藤康弘先生（倉敷市開業、岡山大学歯学部臨床教授）
斉藤美香先生（旭川訪問歯科相談センター・総括主任歯科衛生士）
吉田 泉先生（西播磨総合リハビリテーションセンター・言語聴覚士）

学会ホームページ：<http://www.osaka-dent.ac.jp/JACMO/taikai/index.htm>

本大会は、岡山県歯学会、日本歯科医会、日本矯正歯科学会、日本顎頭蓋機能学会の共同開催に運営されています。



岡山県、岡山市、（社）岡山県医師会、（社）岡山県歯科医師会、（社）岡山市歯科医師会、（社）岡山県看護協会、（社）岡山県栄養士会、（社）岡山県薬剤師会、岡山県言語聴覚士会、（社）岡山県作業療法士会、（社）岡山県理学療法士会、（社）岡山県臨床検査技師会、（社）岡山県放射線技師会、（社）岡山県歯科衛生士会、（社）岡山県歯科技工士会、岡山県介護福祉士会、（社）岡山県病院協会、岡山県医療ソーシャルワーカー協会、岡山県老人保健施設協会、岡山県痴呆性高齢者グループホーム協会、岡山県在宅介護・地域包括支援センター協議会、岡山県社会福祉協議会、岡山県通所リハビリテーション協議会、岡山県デイサービスセンター協議会、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会、岡山県老人福祉施設協議会、岡山県介護支援専門員連絡協議会、日本歯学系学会連絡協議会、病院歯科介護研究会、岡山大学歯学部。

平成 18 年 5 月 10 日

日本顎頭蓋機能学会会員各位殿

第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会 ならびに総会のお知らせ

日本顎頭蓋機能学会(JACMO)

学会長 川添堯彬

第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会

大会長 窪木拓男

日本顎頭蓋機能学会(JACMO)もついに 20 周年を迎えることになりました。この間に会員各位には多大なるご支援を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。この 20 周年の節目を大切に、さらに本会ならびに歯科医学の発展のため努力する所存ですので会員各位におかれましてはこれまでも増してご支援賜りますようお願い申し上げます。

さて、本学会は、これまで、顎機能を中心に伸びてきた学会ですが、今後の人口の高齢化を視野に入れると口腔機能のリハビリテーションという大きな枠組みの中で、歯科が全人的な医療にどのように貢献できるかを議論すべき時期に来ていると思われまます。この方向性は、本会の認定医の名称が「口腔リハビリテーション認定医」であることともよく符合します。前回の学術大会でも小出大会長がこの方向性を示されましたが、今回はさらにこれを推し進める形で企画を立案させていただきました。

今回は、大会のメインテーマを「高齢化と口腔リハビリテーション –口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション、咬合リハビリテーション–」として、特別講演、シンポジウム等を企画しました。

まず、学術大会1日目には、山下 敦名誉教授の20周年記念講演から始まり、本学会の歴史を振り返っていただくとともに、今後の歯科の発展にむけての展望を述べていただきます。次に、「お口の健康がいかに全身健康と関連があるか」をテーマに市民公開講座を開催し、岡山大学歯学部臨床教授の木村先生、岡山大学大学院歯周病態学の西村助教授、広島大学病院の吉田講師に、先生方のご専門を取り混ぜて、市民にわかりやすく歯科と医療の関わりをお話頂きます。また、市民公開特別講演として日本歯科大学口腔介護・リハビリテーションセンターの菊谷 武先生に、赤ちゃんからお年寄りまで、すべての年代を対象に、摂食・嚥下障害、言語障害のある方々の機能回復にあたられている幅広いご活動内容をお話頂きます。1日目最後に、一般講演をポスターにて御発表いただきます。終了後には、会場近くのホテルにて、懇親会を予定しております。2日目には、「高齢者における口腔リハビリテーションと全身健康」と題し、8020運動を率いてこられた東京歯科大学の石井先生を筆頭に、新潟大学の野村先生、岡山県歯科衛生士会の松尾先生にご講演いただきます。ランチョンセミナーでは、韓国からお招きするKim先生に、顎関節症や口腔顔面痛を扱う専門の歯科医院を精神科医や神経内科医とともにご開業されたご経験についてお話しいただきます。午後には、「摂食・嚥下障害に対する医科・歯科協同アプローチ」と題して、岡山大学医学部の内藤先生、歯学部の石田先生、皆木先生に常日頃行われている治療手技や岡山大学のNST活動について具体的なお話しをいただきます。最後に、恒例のテーブルデモンストレーションでは、歯科医師会の方から高齢者の病診連携をどのようにシステム化して来られたかを近藤先生にお話しいただきます。口腔ケアの具体的な手技について経験豊富な歯科衛生士である斉藤美香先生に、また、口腔リハビリテーションの専門家である言語聴覚士の吉田 泉先生にリハビリテーションの実際についてご指導いただきます。

つきましては、医師、歯科医師の先生方のみならず、関係多方面からのご参加を心からお願いする次第です。また、一般演題をポスター発表として募集いたしますので、ふるってご応募下さるようお願い申し上げます。

学術大会内容

メインテーマ「高齢化と口腔リハビリテーション」

—口腔ケア, 摂食・嚥下リハビリテーション, 咬合リハビリテーション—

第20回記念基調講演:「JACMOの発展と咬合リハビリテーション」

座長: 川添堯彬教授(大阪歯科大学大学院歯学研究科有歯補綴咬合学, 現日本顎頭蓋機能学会会長)

演者: 山下 敦先生(岡山大学名誉教授, 初代日本顎頭蓋機能学会会長)

市民公開シンポジウム:「全身健康はお口の健康から」

座長: 高柴正悟教授(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・歯周病態学)

① 「介護予防は口腔から」

木村年秀先生(三豊総合病院・歯科保健センター, 岡山大学歯学部臨床教授)

② 「歯周病と全身の健康—歯周病はメタボリックシンドローム」

西村英紀助教授(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座 歯周病態学分野)

③ 「咬合と転倒—寝たきりを防ぐために—」

吉田光由講師(広島大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔頸部医科学講座 先端歯科補綴学研究室)

市民公開特別講演:「口からはじまる介護予防—口腔ケアで寝たきり防止—」

座長: 窪木拓男教授(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔機能制御学)

演者: 菊谷 武先生(日本歯科大学附属病院・口腔介護リハビリテーションセンター)

シンポジウム I :「高齢者における口腔リハビリテーションと全身健康」

座長: 矢谷博文教授(大阪大学大学院歯学研究科・顎口腔機能再建学)

① 「高齢社会における歯科医療

—8020運動の向こうにあるもの—

石井拓男教授(東京歯科大学・社会歯科学)

② 「要介護者用クリニカルパスと咬合リハビリテーション

—歯科治療は高齢者医療にいかに関与できるか—

野村修一教授(新潟大学大学院医歯学総合研究科・加齢歯科補綴学)

③ 「高齢者における口腔ケアの意義—歯科衛生士の取り組み—」

松尾敬子先生(岡山県歯科衛生士会会長)

シンポジウム II :「摂食・嚥下障害に対する医科・歯科協同アプローチ」

座長: 藤井弘之先生(長崎大学名誉教授), 皆木省吾教授(岡山大学)

① 「NST活動とは?—病院で今何が起きているのか—」

内藤 稔講師(岡山大学医学部・歯学部附属病院・腫瘍・胸部外科, 岡

山大学医学部・歯学部附属病院NST)

②「摂食嚥下に対する取り組み」

石田 瞭講師(岡山大学医学部・歯学部附属病院・特殊歯科総合治療部, 岡山大学医学部・歯学部附属病院 NST)

③「摂食・嚥下機能回復訓練義歯」

皆木省吾教授(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・咬合・口腔機能再建学, 岡山大学医学部・歯学部附属病院 NST)

ランチョンセミナー:「Treatment of TMD patients in a private practice setting and a retrospective study on patients with degenerative change in the temporomandibular joints」

座長: 松香芳三助教授(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔機能制御学)

演者: Dr. Youn Joong Kim (Seoul 市開業, Seoul 大学臨床教授)

テーブルクリニック

①「高齢者の病診連携をどのように地域で構築するか—倉敷市の取り組み—」

演者: 近藤康弘先生(倉敷市開業, 岡山大学歯学部臨床教授)

②「口腔ケアの実際—安全で効果のある口腔ケアの勘所—」

演者: 斉藤美香先生(林歯科 旭川訪問歯科相談センター・総括主任
歯科衛生士・ケアマネージャー・介護ヘルパー)

③「摂食・嚥下障害訓練にあたっての評価と手技」

演者: 吉田 泉先生(西播磨総合リハビリテーションセンター・言語聴覚士)

認定医研修セミナー:「臨床エビデンスに基づく顎関節症の治療法—症型分類と治療法—」

座長: 井上 宏教授(大阪歯科大学大学院歯学研究科・欠損歯列補綴咬合学)

演者: 窪木拓男教授(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔機能制御学)

一般講演, 業者展示

会場: 岡山大学創立五十周年記念館

大会日程

第1日目(9月23日)

	ポスター発表会場(2F)	理事会・評議会室(2F)	業者展示会場(1F)
10:00~12:00	認定医研修セミナー 「臨床エビデンスに基づく顎関節症の治療法」 (参加費が別途必要です)	理事会・評議員会 理事会(9月22日16:00~) 評議会12:00~	業者展示

13:00~13:05 開会の辞 大会長 窪木拓男

	メイン会場	ポスター発表会場(2F)	業者展示会場(1F)
13:10~14:00	記念基調講演	ポスター展示	業者展示
14:00~14:05	会長挨拶 会長 川添堯彬		
14:05~16:00	市民公開シンポジウム 「全身健康はお口の健康から」		
16:00~17:00	市民公開特別講演 「口からはじまる介護予防—口腔ケアで寝たきり防止—」		
17:00~18:00		ポスターディスカッション	

18:30~20:00 懇親会 (リーセントカルチャーホテル, マンハッタンの間)

第2日目(9月24日)

	メイン会場	ポスター発表会場(2F)		業者展示会場(1F)
9:00~9:30	総会	ポスター展示		業者展示
9:30~11:30	シンポジウムⅠ 「高齢者における口腔リハビリテーションと全身健康」			
11:30~11:45	コーヒーブレイク			
11:45~12:45	ランチョンセミナー 「Treatment of TMD patients in a private practice setting and a retrospective study on patients with degenerative change in the temporomandibular joints」			
13:00~15:00	シンポジウムⅡ 「摂食・嚥下障害に対する医科・歯科共同アプローチ」			
15:00~15:15	コーヒーブレイク			
15:00~16:00	テーブルクリニック 「高齢者の病診連携をどのように地域で構築するか」	テーブルクリニック 「口腔ケアの実際」	テーブルクリニック 「摂食・嚥下障害訓練にあたっての評価と手技」	業者展示

16:00~ 閉会の辞 副会長 井上 宏

第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会

日 時 :平成 18 年 9 月 23 日(土)午後 1 時 00 分～6 時 00 分, 懇親会:午後 6 時 30 分～
24 日(日)午前 9 時 00 分～午後 4 時 00 分
※ 23 日(土)午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分:認定医研修セミナー

会 場 :岡山大学創立五十周年記念館 多目的ホール, 大会議室, 中会議室, 小会議室
〒700-8530 岡山市津島中 1 丁目 1-1 電話 086-251-7057

参 加 費 :J A C M O 会 員 : 8,000 円 (当日 10,000 円)
J A C M O 非 会 員 : 10,000 円 (当日 12,000 円)
大 学 院 生 : 5,000 円 (学生証のコピーを添付)
メディカル・デンタルスタッフ : 3,000 円
懇 親 会 : 8,000 円 マンハッタン(リーセントカルチャーホテル)
認 定 医 研 修 セ ミ ナ ー : 10,000 円 (当日 12,000 円)
市 民 公 開 講 座 : 市民無料

抄録申込の締切:平成 18 年 6 月 23 日(金)必着

宿 泊 :JTB西日本 EC オペレーションセンターにご連絡ください。
電話:06-6260-5076 Fax:06-6263-0717

参加費振込先: 中国銀行 普通預金 清輝橋支店 口座番号 1577075
第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会 大会長 窪木拓男

参加申込・問い合わせ先 〒700-8525 岡山市鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 顎口腔機能制御学分野
第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会
準備委員長 松香芳三
電話:086-235-6682 Fax:086-235-6684
e-mail:matsuka@md.okayama-u.ac.jp

前納申込期限:平成 18 年 7 月 28 日(金)

前納されるかたは, 参加費をお振込後, 下記申し込み用紙に必要事項を記入の上, 郵送または Fax にてお申し込み下さい。

氏名		所属	
住所	〒 ー		
電話		Fax	
学術大会・懇親会・認定医研修セミナー 振込金額(円) 1日目昼食(一食 1,500 円, お茶付です。)申し込みするものに○印をつけて下さい。			

複数で申込みされる場合には, 松香まで参加者全員の氏名を e-mail または FAX して下さい。

第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会 一般口演 演題申込書

演題締め切り:平成 18 年 6 月 23 日(金)

発表形式は、ポスター発表のみを予定しています。十分な討論が行えるように、60 分間のディスカッションを行っていただく予定です。

申込方法は、郵送、FAX、e-mail のいずれでもかまいませんが、なるべく、e-mail で下記の内容をお送り下さい。なお、e-mail の場合は、メールの本文に全ての情報を含めていただくか、これらの情報を含んだ Word または Text ファイルを添付して頂いてもかまいません。

演題申込先： 〒700-8525 岡山市鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 顎口腔機能制御学分野
第 20 回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会
準備委員長 松香芳三
電話:086-235-6682 Fax:086-235-6684
e-mail:matsuka@md.okayama-u.ac.jp

記

1. 演題名(和文)
2. 演題名(英文)
3. 演者(発表者に○を付けて下さい。所属が複数の場合は氏名の右肩に所属に一致した番号を付して下さい。)
4. 演者(英文)
5. 所属(所属が複数の場合には所属別に番号を付して下さい。)
6. 所属(英文)
7. 住所 〒
8. TEL
9. FAX
10. e-mail アドレス
11. 事前抄録本文(800 字以内)

平成18年9月23日(土) 14時00分～17時00分

第20回日本顎頭蓋機能学会記念学術大会

市民公開講座のご案内

大会長：窪木 拓男

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)

市民公開特別講演

「口からはじまる介護予防

—口腔ケアで寝たきり防止—

座長 窪木拓男先生

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔機能制御学分野教授)

菊谷 武先生 (日本歯科大学附属病院・口腔介護リハビリテーションセンター長)

市民公開シンポジウム

「全身健康はお口の健康から」

座長 高榮正悟先生

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・歯周病態学分野教授)

◆ 木村年秀先生 (三豊総合病院・歯科保健センター, 岡山大学歯学部臨床教授)

「介護予防は口腔から」

◆ 西村英紀先生 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・歯周病態学分野助教授)

「歯周病と全身の健康—歯周病はメタボリックシンドローム」

◆ 吉田光由先生 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科・顎口腔頸部医科学講座講師)

「咬合と転倒—寝たきりを防ぐために—」

※一般の方は参加費無料です

後援

岡山県、岡山市、(社)岡山県医師会、(社)岡山県歯科医師会、(社)岡山市歯科医師会、(社)岡山県看護協会、(社)岡山県柔道士会、岡山県言語聴覚士会、(社)岡山県作業療法士会、(社)岡山県理学療法士会、岡山県医療ソーシャルワーカー協会、(社)岡山県歯科衛生士会、(社)岡山県歯科技工士会、病院歯科介護研究会、日本歯学系学会連絡協議会、岡山大学歯学部、岡山大学病院